

特別会計

国民健康保険

予防や健康づくり対策に

急速な高齢化進行に伴い国民健康保険加入者に占め

る高齢者の割合が増加傾向にあります。

近年、医療需要は質・量ともに高度化され、疾病構造が大きく変化する中で医療費は年々増加しています。

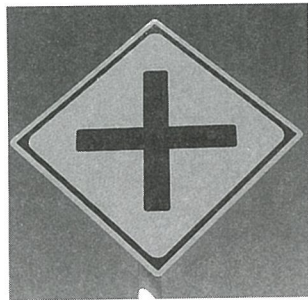
平成7年度国民健康保険特別会計の予算は、被保険者の健康の保持増進を図ることを重点として、伸び続ける医療費を抑制するため健康づくり推進事業等の補助事業を導入し積極的に事業を行います。「自分の健

康は自分で守る」という意識を持っていただき、病気になる前から、病気にならぬような予防や健康づくり対策に力を注いでいきます。

一方、専門的な眼で健康を確認していただくための各種検診や費用の85%が補助される短期人間ドックという有利な制度もありますのでぜひ利用をしてください。ちなみに短期人間ドックの費用は消費税を含め6

2台
防炎行政無線戸別受信機の未設置世帯への設置を推進
30台

に防止するため標識や反射鏡を設置します。



この先に十字路があります

町の将来計画を策定
総合計画策定事業
928万円

ポンプ付積載車購入

防災施設整備
防炎対策事業
1144万円

ふたの付いていない防火水槽にふたを取りつける工事
5カ所

古くなった小型動力ポンプ積載車の買い替え

交通事故防止の標識
道路標識・反射鏡設置及び補修事業
158万円

道路整備を積極的に進める一方で、走りやすくなった道路での交通事故を未然

万6950円ですが、自己負担額は1万1700円です。

国保税は、医療費の支払にだけに充てられる特定の財源です。しかし医療費はいつ急激に増加し、国保会計を圧迫するかもしれません。そのようなことのないように医療費の動向を注意深く見守りながら、平成7年度国保税賦課にあたっては応能(所得割・資産割)・応益(均等割・平等割)・バ

い、基本構想の半分の6年間の計画です。また、更に細かくしたものを実施計画といひ3年間の計画としていきます。

このように、1つの基本構想(12年)に対し、基本計画(6年)は2回、実施計画(3年)は4回新しくつくられ、これらを総称して総合計画といひます。

町の行う事業は、この総合計画に基づき行われているため、とても重要な計画であるといひます。

今年度は、基本構想、基本計画、実施計画のそれぞれ最終年度でもあり、来年度からの新しい計画を策定するための事業費がここに

ランスの調整を含めた総合的な税率改正を行う予定で

食肉センター

施設整備を

計画的に

千葉県内と畜場の統廃合問題が昨年末から具体的に動き出している中、当センターは、先人の遺した創業

計上されています。

10月1日に行われる

国勢調査事業 293万円

5年に一度、全国一斉に調査が行われます。歳入の36・4%を占める地方交付税は、この国勢調査人口を基礎に算定されるため各種統計調査の中でも重要視されています。

戦後50周年で記念講演

戦没者追悼式 140万円

戦没者に対し深く追悼の意を表し式典を行います。

85年の歴史ある施設として位置づけられています。

そのような時代背景の中、施設運営の目標として、今後も業界の動向を注意深く見守りながら積極的にと畜頭数の確保に努め、安定した経営をしていきます。

特に施設整備については計画的に取組み、過剰な投資は極力避け、施設管理に係る経費節減を図りながら安定した経営をすべく予算編成しました。

今年度は戦後50周年をむかえるため、記念講演会等も予定しています。

スポーツ・文化活動

高齢者生きがい対策事業 520万円

高齢者が健康で、楽しく、しかも生きがいをもつて社会生活をおくれるように、グラウンドゴルフやゲートボール大会等のスポーツ活動、囲碁・将棋大会等の文化活動、子どもたちとのコミュニケーションの場を提供、健康づくりハイキング等々、生きがいと健康づくり事業をすすめていきます。